

薬学基礎実習Ⅲ（表弘志）

項目		A	B	C	D	E
基本的態度	①他人の実験も観察している ②実験計画の立案、討論に参加する ③実際に手を動かして、実習に参加する ④遅刻しない	これら全てに該当する	左記の項目のうち3つに該当する	左記の項目のうち2つに該当する	左記の項目のうち1つに該当する	左記の項目の全てに該当しない
レポート:基本事項	①目的、方法、結果、考察が記載されている ②実験日が記載されている ③質問事項に答えている ④実験を行った班員が記載されている	左記の項目が全て記載されている	左記の項目のうち3つが記載されている	左記の項目のうち2つが記載されている	左記の項目のうち1つが記載されている	左記の項目全てが記載されていない
レポート:目的	①実習の目的が記載されている ②実験材料のバックグラウンドを含めた基本情報が記載されている。実習書の写しではないこと。 ③引用が記載されている ④図等を用いてわかりやすく説明されている	左記の項目が全て記載されている	左記の項目のうち3つが記載されている	左記の項目のうち2つが記載されている	左記の項目のうち1つが記載されている	左記の項目全てが記載されていない
レポート:方法	①実験に使用した機材が記載されている ②実験に使用した試薬が記載されている ③原理が記載されている(あるいは目的に) ④実習書どおりではなく実際に行った手順に基づいて、追試できる程度に記載されている	左記の項目が全て記載されている	左記の項目のうち3つが記載されている	左記の項目のうち2つが記載されている	左記の項目のうち1つが記載されている	左記の項目全てが記載されていない
レポート:結果	①実験を行った時刻が記載されている ②データを図表で表示している ③図表に単位を記載している ④失敗した実験、再実験などがわかるように記載されている	左記の項目が全て記載されている	左記の項目のうち3つが記載されている	左記の項目のうち2つが記載されている	左記の項目のうち1つが記載されている	左記の項目全てが記載されていない
レポート:考察	①実験結果の生化学的意義を考察している ②実験の技法を考察している ③実験の成否とその理由を考察している ④実験・実習の改善点を考察している	左記の項目が全て記載されている	左記の項目のうち3つが記載されている	左記の項目のうち2つが記載されている	左記の項目のうち1つが記載されている	左記の項目全てが記載されていない

薬学基礎実習Ⅲ(田中・古田)

項目		A	B	C	D	E
実習態度	①安全に注意している。 ②周囲と協調している。 ③能動的に取り組んでいる。 ④遅刻しない。	4項目すべてに該当する。	4項目のうち3項目について該当する。	4項目のうち2項目について該当する。	4項目のうち1項目について該当する。	4項目の全てに該当しない。
レポート:目的	①誤字脱字がない。 ②通読して内容が理解できる。 ③論理的な整合性がある。 ④目的が明示されている。	4項目すべてに該当する。	4項目のうち3項目について該当する。	4項目のうち2項目について該当する。	4項目のうち1項目について該当する。	4項目の全てに該当しない。
レポート:方法	①誤字脱字がない。 ②通読して内容が理解できる。 ③記述内容が正確である。 ④記載内容によって実験を再現できる。	4項目すべてに該当する。	4項目のうち3項目について該当する。	4項目のうち2項目について該当する。	4項目のうち1項目について該当する。	4項目の全てに該当しない。
レポート:結果	①生データが記載されている。 ②グラフや表の記載に誤りがない。 ③結果を表す上でもっとも適切なフォーマットが採用されている。 ④結果の説明に過不足がない。	4項目すべてに該当する。	4項目のうち3項目について該当する。	4項目のうち2項目について該当する。	4項目のうち1項目について該当する。	4項目の全てに該当しない。
レポート:考察	①誤字脱字がない。 ②通読して内容が理解できる。 ③論理的な整合性がある。 ④実験目的をふまえた内容であり、過不足がない。	4項目すべてに該当する。	4項目のうち3項目について該当する。	4項目のうち2項目について該当する。	4項目のうち1項目について該当する。	4項目の全てに該当しない。
レポート:課題	①誤字脱字がなく、通読して内容が理解できる。 ②適切に参考文献が引用されている。 ③論理的な整合性がある。 ④課題に対して適切な回答となっている。	4項目すべてに該当する。	4項目のうち3項目について該当する。	4項目のうち2項目について該当する。	4項目のうち1項目について該当する。	4項目の全てに該当しない。

薬学基礎実習Ⅲ(金 惠淑)

	項目	A	B	C	D	E
基本的事項	<ul style="list-style-type: none"> ①他人の実験も観察している ②実験計画の立案、討論に参加する ③実際に手を動かして、実習に参加する ④遅刻しない 	これらすべての項目が該当する。	4項目のうち、①～③の項目が該当する。	4項目のうち、①～②の項目が該当する。	/	/
技能	<ul style="list-style-type: none"> ① 実験に用いる薬品、器具、機器を正しく取扱い、整理整頓できる。 ② 事前予習により実習書記載の低順で実習を遂行できる。 ③ 実習中は自ら実習を行ない、見学のみ行なうこと無く、同じ班のヒトと協調して遂行することが出来る。 ④ 実習中に生じたトラブルは教員、あるいは実習指導者に速やかに報告・相談できる。 ⑤ 得られた実験結果が理論的に合致しているか、適切なグラフを作成し、その結果から客間的に判断することが出来る。 ⑥ 実習時間中に、⑤の結果と実習書の後ろに問題として列記してある問題を問い、それらと比較することができる。もし、違う結果が得られた場合は、批判的吟味をすることが出来る。 	これらすべての項目が該当する。	6項目のうち、①～⑤の項目が該当する。	6項目のうち、①～④の項目が該当する。	6項目のうち、①～③の項目が該当する。	6項目のうち、①～②の項目が該当する。
レポート	<ul style="list-style-type: none"> ① 実習の背景、目的を簡潔に書くことが出来る。 ② 実習の方法、結果を簡潔に書くことが出来る。 ③ 結果の所にグラフ、写真等を添付し、判りやすく説明することが出来る。 ④ 得られた結果から示唆する内容について述べ、理論的な考察ができる。 ⑤ 実習結果が理論通りに行かなかった場合、考えられる様々な可能性について述べる事が出来る。 ⑥ ⑤と連動する問題(実習書の最後に記載)についても実習結果の欄に記載し、理論値と実験値の相違について記述することができる。 ⑦ 実習内容をさらに展開した問題を選択し、他の講義内容で学習した内容と連携して理論的に説明することが出来る。 	これらすべての項目が該当する。	7項目のうち、①～④の項目が該当する。また、⑤～⑦のうち、2項目が該当する。	7項目のうち、①～④の項目が該当する。また、⑤～⑦のうち、1項目が該当する。	7項目のうち、①～④の項目が該当する	/